令和８年度

入　学　試　験　問　題

帰　国　生

国　　語

1　問題用紙は監督者（かんとくしゃ）の指示があるまでは開いてはいけません。

2　開始のチャイムが鳴ったら、最初に問題用紙と解答用紙に受験番号と氏名を記入して下さい。

3　答えはすべて解答用紙に記入して下さい。

4　記述で答える問題は、特に指定のない場合、句読点（くとうてん）や符号（ふごう）は一字として数えるものとします。

5　問題は１ページから 14 ページまであります。

受験番号		氏名	

森村学園中等部

一

次の①～⑧の――部のカタカナを漢字になおし、⑨～⑫の――部の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

① 娘(むすめ)をテシオにかけて育てる。
② 服のスンポウを測る。
③ 足がボウになるまで歩く。
④ 孫のジュンシンさに心を打たれる。
⑤ 兄はメイロウ快活な人柄(ひとがら)だ。
⑥ おたがいにイシン伝心で理解し合える。
⑦ しんせきがイチドウに会する。
⑧ 朝顔をカンサツする。
⑨ 外国との交易をおこなう。
⑩ 潔く負けを認める。
⑪ そんなやり方は言語道断だ。
⑫ あの人の言い方が気に障る。

二

あとの各問いにそれぞれ答えなさい。

問一 次の各文の（　　）に当てはまる語句として、最も適当なものをあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 近所に漫画(まんが)の図書館ができたので、弟は毎日（　　）通っている。
ア せっせと　**イ** とっとと　**ウ** さっさと　**エ** ぱっぱと

② 車をぶつけてしまったが、車が故障しただけでケガをしなかったのは（　　）だった。
ア あいにく　**イ** みじめ　**ウ** うかつ　**エ** さいわい

③ 彼女(かのじょ)が成功したことは、（　　）。それだけの努力をしてきたのだから。
ア 驚(おどろ)くのも無理はない　**イ** 驚かずにはいられない　**ウ** 驚くにあたらない　**エ** 驚くしかない

④ この事故でけがをした人たちの一日も早い回復を（　　）。
ア 祈(いの)ってたまらない　**イ** 祈ってやまない　**ウ** 祈るまでもない　**エ** 祈るにかたくない

問五　次の各文の（　　）に当てはまる体の一部をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

①　私の友人は、甘（あま）いものには（　　）がない。

②　先生は、クラスのふざける子に（　　）を焼いている。

ア　舌　　**イ**　口　　**ウ**　手　　**エ**　頭　　**オ**　鼻　　**カ**　目

この問題は公開いたしません。

（1）——①「影響（えいきょう）しているらしい」とありますが、何に影響しているのですか。その内容として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア イヌは研究の対象ではないという考えの広まり
イ イヌの習性や生態の変化
ウ イヌに関心を持つ一般（いっぱん）の人々の増加
エ イヌの行動や認識に関する研究の発展

（2）——②「中身が見えない、エサが入った入れ物と空の入れ物を見分ける実験」とありますが、この実験からわかったことの説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア チンパンジーは論理的に物事を考えることができないだろうということ。
イ チンパンジーは目から情報をとらえるのがイヌより苦手であるということ。
ウ イヌは人間が行った指さしの動作の意味を理解できるだろうということ。
エ イヌは耳から情報をとらえるのがチンパンジーより得意であるということ。

（3）本文で述べられている内容として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア イヌとチンパンジーのどちらが賢（かしこ）いかは見方によって異なる。
イ イヌの知能は人間に近いチンパンジーよりも劣（おと）っているといえる。
ウ イヌには社会性があるがチンパンジーには社会性がないことがわかっている。
エ 動物の行動や認識についての研究対象には、イヌよりチンパンジーのほうが向いている。

問七　次のAとBはそれぞれ、新しく発売された飲料について書かれた文章です。二つの文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

この問題は公開いたしません。

（1）　Aの文章では、新発売の野菜ジュースをすすめる最も大きな理由として、どのようなことがあげられていますか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　野菜独特の青臭（あおくさ）さが感じられず、飲みやすいこと。

イ　有機野菜なので、健康に良く安心して飲めること。

ウ　一本飲むだけで、野菜の栄養がたくさんとれること。

エ　有機野菜以外のものは極力使っていないこと。

（2）　AとBの文章で共通して述べられていることは何ですか。その内容として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　「毎日野菜」を野菜不足の人に飲んでほしいということ。

イ　「毎日野菜」の有機野菜は国の厳しい検査に通ったということ。

ウ　「毎日野菜」は他社とは異なる製法で作られているということ。

エ　「毎日野菜」は野菜が苦手な人でも飲めるということ。

問八　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

この問題は公開いたしません。

この問題は公開いたしません。

（1）①「なんでこんなの撮りたいんだ？」とありますが、「こんなの」とは何を指していますか。文中から一語でぬき出しなさい。

（2）a「おどけるような」・b「屈託なく」の意味として適当なものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

a おどけるような

ア 意外なことにびっくりしたような　**イ** ふざけて笑わせるような

ウ 見下してばかにするような　**エ** 親しみを感じて喜んだような

b 屈託なく

ア さっぱりと明るく　**イ** 照れて恥ずかしそうに　**ウ** 大声で元気に　**エ** おもしろそうにくすっと

（3）A～Dのうち、「安田さん」についての**記述ではない**ものを一つ選び、記号で答えなさい。

（4）②「ぼくの郷里」とありますが、主人公の郷里を六字以上十字以内で答えなさい。

（5）③「じつに久しぶりの、旅らしい旅だった」とあるが、「ぼく」にとって「旅らしい旅」とはどのような旅だと考えられますか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 自分の郷里とつながりのある場所に出向き、その土地の歴史や由来を知ることができる旅

イ その土地の人々とのかかわりあいの中で、社会的な問題について考えることができる旅

ウ 時間に追われることなく、その土地の美しい風景や季節の変化を味わうことができる旅

エ 旅先で多くの人に出会い、その人たちそれぞれの人生の一端を感じることができる旅

三　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

人の視線というのは、とても大きな力をもっている。僕たちは、人の視線をなかなか裏切ることができない。

先生からもクラスの仲間たちからも優等生と見られていると、授業中みっともない姿をさらすわけにはいかないというプレッシャーがかかり、しっかり予習をしていくことになる。試験でも悪い成績を取るわけにはいかないため、試験勉強には全力で取り組む。多少熱っぽくて身体がだるくても、根性で集中しようとする。

一方、先生からもクラスの仲間たちからも勉強のできない劣等生と見られていると、授業中に質問に答えられなくても、バカな発言をしても、期待を裏切ることにはならないため、予習などやる必要がない。試験で悪い成績を取っても、それは言ってみれば、みんなの期待通りなわけだから、試験勉強なんかにはなかなか集中できないし、ちょっとでも体調が悪いと感じたら簡単にさぼってしまう。

①どちらも周囲の視線に応える方向に行動している。それほどにみんな他者の視線に縛られているのだ。

（中略）

②ピグマリオン効果というのがある。これは、期待をかけることによって生徒の学力が伸びる現象をさすものだ。

心理学者が小学校に行き、生徒たちに知能テストを実施したあと、クラスの担任に成績上位者のリストを渡し、この子たちは今後伸びるだろうと伝える。すると、その後、ほんとうにそのリストの生徒たちは他の生徒たちよりも学力が伸びた。

それは知能が高いんだから当然だと思うかもしれないが、じつはそうではないのだ。そこにはからくりがあった。その成績上位者の生徒名は、でたらめにリストアップされたものだったのだ。それにもかかわらず、リストにあった生徒たちの学力が伸びた。

なぜか。それは担任の先生が期待したからだ。その期待の視線を生徒が感じ取ったからだ。その結果、リストにあった生徒たちは、期待に応えようと必死になって頑張ったため、ほんとうに成績が伸びたのだった。

周囲からどんな視線を投げかけられているか。それによって僕たちの行動は大いに縛られていることがわかる。

僕たちは、どうしてそれほどに人の視線に縛られるのか。そこには、人から認められたいという欲求が関係している。

極端な例を出せば、仲間たちから認められたい一心で、肝試し的な万引きをしてしまうことさえある。もともとワルなわけではなく、こんなことはしちゃいけないという思いが強く、万引きをする前はものすごい葛藤があったのに、これで仲間になれた、みんなから認められたという*ポジティブな思いが込み上げてきたりする。周囲から認められたいという欲求は、それほどまでに強烈なものなのだ。

③心理学者マズローは、人間のもつ基本的欲求を四つあげている。生理的欲求、安全の欲求、愛と所属の欲求、承認と自尊の欲求の四つだ。戦時中のような食糧の確保も身の安全の確保も困難な時代と違って、今の日本では生理的欲求と安全の欲求はほぼ満たされているといってよいだろう。そこで、現代人にとっては、愛と所属の欲求や承認と自尊の欲求をどうやって満たすかが重要な課題となる。

④右にあげた万引きの例でも、こんなことはしちゃいけないと強く思いつつも、所属の欲求と承認の欲求に突き動かされてやってしまったことになる。

仲間がほしい。仲間に入れてほしい。グループに所属したい。そのためにも気の合う仲間として認めてほしい。仲間になるにふさわしいと評価してほしい。このように所属の欲求と承認の欲求は複雑に絡み合っている。**(ア)**

人の目が気になって仕方がないのも、心の中に強い所属の欲求と承認の欲求を抱えているからといえる。仲間として認められれば、所属の欲求も承認の欲求もともに満たされる。**(イ)**

⑤自分のキャラが窮屈に感じるという声を聞くことがある。とくに今は仲間の笑いを誘うキャラが人気だが、本人はそのキャラを窮屈に感じていたりする。**(ウ)**

かつては勉強のできる子が一目置かれたり、スポーツの得意な子が憧れの対象になったりしたものだが、今人気なのは面白い子だ。みんなを楽しませ、笑いが取れる子だ。**(エ)**

勉強で認められるのも、スポーツで認められるのも、それなりの能力や努力が必要だし、仲間同士の能力の優劣があからさまになるため、傷つきやすい今の若い世代には敬遠されがちだ。それに比べて、キャラに則って面白さを演じる方が容易に承認が得られやすい。優劣で傷つくこともない。

一人のときにはいろいろ不安も悩みもあるはずなのに、グループになるといつも面白おかしく笑っている。あたかも芸人たちのバラエティ番組さながら、天然キャラやツッコミキャラ、いじられキャラ、笑わせキャラ、辛口キャラ、おばかキャラなど、それぞれ自分の役割を演じつつ楽しい場をつくっている。それによって所属の欲求や承認の欲求を満たしている。

それでも、ときに自分のキャラに息苦しさを感じることもある。グループの中での自分のイメージを意識し、周囲の期待を裏切らないために、かなり無理をしている部分があることに気づく。いじられキャラといっても、それは言い過ぎだろうと感じることもあるが、怒るのは自分らしくない。笑わせキャラだって、ときには悩むこともあり、とても笑える気分じゃないのに、みんなと会ったとたんに冗談を言って周囲を笑わせている自分がいる。

それほどまでに人の目の拘束力は強い。それは、だれもが何としても周囲から認められたいからだといえる。

⑥日本は恥の文化の国だと言われるが、「恥ずかしい」とか「みっともない」というのは、僕たちにとってとても馴染みのある感覚だ。

作家の司馬遼太郎は、日本文化研究者ドナルド・キーンとの対談で、日本社会に秩序があり、犯罪が少ないのは、「恥ずかしいことはするな」という意識があるからだと指摘する（司馬遼太郎、ドナルド・キーン『日本人と日本文化』中公新書、一九七二年）。

たとえば、戦場で敵に後ろを見せるのは恥ずかしいことで、カッコ悪いから逃げない。鎌倉時代の武士にも、すでにカッコ悪いという感覚はあった。それは、*モラルでなく美意識だ。美意識だけで社会の秩序が保たれてきた国は日本だけなのではないかという。今でも犯罪が少ないが、それは犯罪がカッコ悪いからだ。親父の A（　　）は潰れるし、自分も友だちに B（　　）向けできないというだけで罪を犯さない。

恥ずかしいことはできないということだけで、社会の*安寧秩序が保てる。その程度のことだけで安寧秩序が保てる社会というのは不思議だと司馬は言う。

「世間の目を気にする」とか「世間体を気にする」などと言うと、否定的に受け取られがちだが、「恥ずかしい」とか「みっともない」という思いは、法的に裁かれるかどうかに関係なく、自分を正しい行いに導く力になっている。

そんなことをするのはみっともない。罰せられるのが嫌だからしないというのではなく、みっともないからしない。法的には罰せられることがなくても、みっともないからしない。それは、法的に裁かれるからしないというよりも、むしろ⑦自律的な自己規制力といえないだろうか。

日本の精神文化を世界に伝えたいという意図で、『武士道』を英文で出版した新渡戸稲造は、日本人にとってとくに重要なのは名誉の感覚だという。

日本人にとっては、名誉を汚されることが最も大きな恥となる。恥を知る心は、少年の教育において中心的な位置を占める。「笑われるぞ」「恥ずかしくないか」といった言葉が、正しい行いを促すときの最後の警告として使われる。このように新渡戸は、恥の意識によって名誉ある行動が導かれるとみなしている。

みっともない。恥ずかしい。それは、日本人ならだれでもしょっちゅう感じる、非常に身近な感覚のはずだ。そうした感覚によって自分の行動をコントロールする。これは、じつは他者中心の行動の律し方と言える。人の目に映る自分の姿を想像することで、「そんなのはみっともない」「そんなこともできないのは恥ずかしい」というように自分の行動を律していく。

「自分がそうしたいからする」「自分がそうしたくないからしない」という自己中心的な行動の律し方をする文化と違って、人の目を意識する心をもつことで、法的裁きを厳しくしなくても社会の秩序が保たれてきたわけだ。

（中略）

自分の姿が人の目にどんなふうに映っているか。僕たちは、それをたえず意識して暮らしている。社会の秩序までもが人の目を意識した自己

規制力によって保たれるほど、僕たち日本人は人の目に過敏な心理構造をもっているのだ。

（榎本博明『〈自分らしさ〉って何だろう？　自分と向き合う心理学』より）

※　問題作成の都合上、文章の一部を省略したところがあります。

（注）＊ポジティブ……積極的で前向きなさま。
＊モラル……道徳。
＊安寧秩序…社会の秩序が保たれ、平穏なこと。

問一　――①「どちらも周囲の視線に応える方向に行動している」とありますが、「優等生」と「劣等生」はどのような点が共通しているのですか。その説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　どちらも、自分の意志と反する他者の意見に心を痛めながら、結局はその意見の通りに行動してしまう点
イ　どちらも、その人がどういう個性を持っているかは関係なく、周囲の生徒と同じように行動してしまう点
ウ　どちらも、先生やクラスの仲間から自分に寄せられる期待をくみ取って、それに合うような言動をとる点
エ　どちらも、周りの人が自分をどう見ているかを自分の行動の基準にして、何事にも消極的な態度をとる点

問二　――②「ピグマリオン効果」とありますが、この効果が表れている事例として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　国語の教員が、「君は漢字の小テストをいつも頑張っているね」と伝えたところ、その生徒はその後の小テストで毎回満点の成績を取るようになった。
イ　算数の教員が、「計算の時は途中式を書くことが大切だよ」と指摘したところ、そのクラスのほとんどの生徒はその後のテストで途中式を記入するようになった。
ウ　社会の教員が、「自分の街の防災マップを作ろう」と課題を与えたところ、生徒たちは防災について考えながら自分たちが住む町を歩くようになった。
エ　理科の教員が、「自然界の法則性を解き明かすのが我々の使命だ」と述べたところ、ある生徒は物理学を研究する科学者を目指すようになった。

問三　――③「心理学者マズローは、人間のもつ基本的欲求を四つあげている」とありますが、これらの欲求のうち「愛と所属の欲求や承認と自尊の欲求」に当てはまる事例として、最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　衣食住の全てを満ち足りたものにしたいと考える人は、その手段としてお金を多く稼ごうとする。

イ　多くの新入生は、自分に合う部活動や委員会活動を見つけ、そこで親しい友人を作りたいと考えている。

ウ　受験勉強のために夜遅くまで学習する日が続くと、眠気に勝てず日中にうたた寝してしまうことがある。

エ　震災や火災などに見舞われた際に、人々は雨風を防いで家族が安心して過ごせるような住まいを求める。

問四　――④「右にあげた万引きの例」とありますが、筆者がこの具体例を用いた目的はどのようなものであると考えられますか。その説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　人は、いけないとわかっていながらも、他者の視線を引き付け注目されるために悪いことをしてしまうということを示すため。

イ　人は、善悪の間で葛藤していても、悪事を共に行うことで互いに認め合い仲間意識を感じてしまうものだということを示すため。

ウ　人は、悪いことをしてしまった罪悪感よりも、それがうまくいったという達成感を強く感じてしまうものだということを示すため。

エ　人は、仲間として認められるためなら、良くないとわかっていても悪事をはたらいてしまうことさえあるということを示すため。

問五　次の一文は、本文中からぬき出したものです。これをもどす場所として最も適当なところを、本文中の**(ア)**～**(エ)**より選び、記号で答えなさい。

こうした変化には、承認欲求の満たしやすさや心の傷つきやすさが関係しているのではないだろうか。

問六　――⑤「自分のキャラが窮屈に感じるという声を聞くことがある」とありますが、「自分のキャラが窮屈に感じる」ことがあるのはなぜですか。その理由を三十字以上四十字以内で説明しなさい。

問七 ――⑥「日本は恥の文化の国だと言われる」とありますが、ここでいう「恥の文化の国」とはどのようなことを言い表していると考えられますか。その説明として最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

ア 日本は、恥の意識そのものを尊い文化として残し守ってきた国だということ。

イ 日本は、法律よりも恥の意識によって社会秩序を維持してきた国だということ。

ウ 日本は、世間的な恥を恐れる一方で、対外的な恥を気にしない国だということ。

エ 日本は、恥の意識から世間体を気にすることを否定しがちな国だということ。

問八 ～～～A「（　　）は潰れる」・B「（　　）向けできない」の（　　）に共通して当てはまる、体の部位を表す漢字一字を入れなさい。

問九 ――⑦「自律的な自己規制力」とありますが、「自律的」とは「自らの意思で判断・行動する」という意味です。「恥の意識」が「自律的な自己規制力」に結びつくのはなぜですか。「他者」という言葉を必ず用いて、三十字以上四十字以内で答えなさい。

問十 この文章の特徴の説明として、**適当でない**ものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ピグマリオン効果やマズローの基本的欲求といった専門用語を用いて、筆者の主張を裏付けている。

イ 周囲からの視線という主題について、身近な例だけでなく、日本の精神文化にまで話題を広げている。

ウ 学校や友人グループといった身近なものから話題を取り上げ、読者が状況を思い浮かべやすくしている。

エ 優等生と劣等生、現在とかつて、日本と外国という二つの事柄を対比して、両者の特徴を際立たせている。

問十一 ――「自分の姿が人の目にどんなふうに映っているか。僕たちは、それをたえず意識して暮らしている」とありますが、あなたは「他人の視線を意識すること」は良いことだと思いますか、それとも、良くないことだと思いますか。また、それはなぜですか。あなたが経験したことや見聞きしたことを例にあげて、あなたの意見を書きなさい。